

第2回与論町新庁舎建設計画 に関する住民説明会

日時 平成28年11月22日 18:30～
場所 地域福祉センター ホール

会 次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶 与論町長 山 元宗
- 3 役場新庁舎の建設予定地について
 - ① 概要説明 庁舎建設検討委員会 久留委員長
 - ② 詳細説明 総務企画課
 - ③ その他
- 4 質疑応答
- 5 閉 会

は じ め に

- ・この説明書は、役場新庁舎の建設場所について、庁舎建設検討委員会において協議されたことなどについてまとめたものです。
- ・庁舎建設検討委員会で協議した結果を町民の皆様にご報告し、最終的な建設場所の決定に繋げてまいります。

与論町庁舎建設検討委員会

○平成26年5月19日

与論町庁舎建設検討委員会設置要綱を制定

・検討委員会で協議すること

(1) 庁舎建設の基本構想に関する事項

(2) 庁舎建設の基本計画に関する事項

(3) 庁舎の建設位置に関する事項

(4) その他庁舎建設に関して必要な事項

○ 検討委員会の委員

- ・各種団体長 23名
- ・副町長、教育長
- ・役場課長 3名 合計 28名

○ これまでの開催経過と検討事項

- ・第1回 平成26年5月27日 アンケート集計結果について等
- ・第2回 平成26年7月 1日 現庁舎の耐震診断結果、鹿児島県地震等災害被害予測調査結果等
- ・第3回 平成26年9月 2日 新庁舎整備に係る概算事業費、概算事業費の財源等
- ・第4回 平成26年12月4日 新庁舎建設候補地のエリア検討等
- ・第5回 平成27年2月23日 庁舎建設候補地の評価等
- ・第6回 平成28年2月 2日 庁舎建設候補地(エリア)の選定今後の進め方(方針)等
- ・第7回 平成28年7月 4日 庁舎建設候補地の現地調査新庁舎建設候補地の絞り込み
- ・第8回 平成28年11月9日 新庁舎建設予定地の決定

どこへ建設するのか？

～庁舎建設検討委員会では、建設候補地を5か所に絞り込み検討を進めてきました。

○ 建設候補地

- A 現庁舎の場所
- B 茶花市街地郊外（北側）
- C 砂美地来館周辺
- D 与論高校周辺
- E 中央公民館周辺

庁舎建設検討委員による評価結果

第5回庁舎建設検討委員会において庁舎建設候補地のエリア選定を行い、21名の委員に候補地の評価をしていただきました。

○ 項目 利便性、安全性、貢献性、
将来性、実現可能性

○ 評価結果

A	現庁舎	291点
B	茶花市街地郊外	310点
C	砂美地来館周辺	398点
D	与論高校周辺	347点
E	中央公民館周辺	378点

砂美地来館周辺
及び中央公民館
周辺の用地調査
を行う

○第7回庁舎建設検討委員会

現地調査及び意見交換の結果

1 砂美地来館周辺

検討委員の評価で最も点数が高かったエリア

- ・砂美地来館周辺の用地については、地権者との交渉が前に進まないという意見が多く、予定地とした場合に実現できるか不透明である。

2 中央公民館周辺

検討委員の評価で2番目に点数が高かったエリア

- ・旧町立診療所の用地を活用すれば、町の財産の活用、用地交渉が省ける。
- ・標高が30mを超えるので津波に対する安心感。
- ・駐車場については、周辺用地が確保できないか。
- ・道路が狭いので拡張が必要では。
- ・商店街との距離感、人の流動性は良いのでは。

○検討結果

旧町立診療所を中心に用地確保の検討や建設シュミレーションを行う。

旧町立診療所用地を新庁舎建設予定地とした 用地確保の検討や建設シュミレーション

○建設予定地の調査結果

1 施設の現況及び用地面積

(1)施設の現況

施設名称	旧町立診療所	医師住宅	地域包括支援センター	保健センター
現況	鹿児島大学へ貸付け	一般住宅	町利用	町利用
構造	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート 2階建て
建築年度	昭和53年	昭和53年	昭和56年	平成2年
築年数	38年	38年	35年	26年
延床面積	817.55㎡	165.00㎡	198.00㎡	513.00㎡

(2)用地面積

施設名称	地番	面積(m ²)
旧町立診療所・医師住宅・ 駐車場	1418-1	4,140.56
地域包括支援センター	1484-1	800
駐車場	1496	631.29
保健センター	1491	622
合計 (保健センターを除いた合計)		6,193.85 5,571.85

2 駐車場用地の取得可能性

旧診療所用地に新庁舎を建設した場合、同敷地内は来客及び緊急車両等の駐車スペースしか確保できないため、隣接地の用地が取得可能か調査した。

旧診療所の西側に面した現況原野の土地で標高は20m～25m程度。地権者と面談でき、前向きな回答をいただけた。

3 防災性

敷地の安全性、災害時や復旧活動時など防災拠点として機能できるか。

(1)標高及び海岸からの距離

保健センターの標高は32.5m

鹿児島県地震等災害予測調査の奄美群島太平洋沖（南部）地震による津波の遡上高4.69より27.81m高い位置にある。

海岸（茶花）までの距離は860m。

与論町防災マップ

津波危険地域

	0m～5m
	5m～10m
	10m～15m
	用水路



非常持ち出し品と家庭内備蓄品のチェックリスト

下のリストを参考にし、必要最小限の非常持ち出し品や家庭内備蓄品を準備しましょう。

生活日用品	飲料水・非常食	貴重品	衣料品
☐ ウェットティッシュ ☐ ライター・マッチ ☐ ビール缶 ☐ ラップ ☐ 筆記用具 ☐ 紙コップ・紙皿 ☐ 割り箸 ☐ ガムテープ ☐ 新聞紙	☐ 飲料水 ☐ 乾パン ☐ 缶詰 ☐ ビスケット ☐ チョコレート ☐ カップめん ☐ アルファ米	☐ 現金(小銭も) ☐ 預貯金通帳 ☐ 印鑑 ☐ 健康保険証 ☐ 運転免許証	☐ 衣類・下着 ☐ タオル ☐ 雨具 ☐ 軍手(厚手の手袋)
ラジオ等	医薬品	その他	
☐ 携帯ラジオ ☐ 予備電池 ☐ 携帯電話 ☐ 懐中電灯 ☐ 笛(ホイッスル)	☐ ばんそうこう ☐ 包帯・きず膏 ☐ 常備薬 ☐ 服用中の薬 ☐ 生理用品	家族構成によって必要なもの(小さな子供や介護が必要な方がいるご家庭など) ☐ 粉ミルク・ほ乳瓶 ☐ 猫おむつ ☐ 介護用品 ☐ ペットフード	

【避難場所一覧表】

※以上

番号	地区名	避難場所	集落名	電話(約)	収容人員(約)	施設種類	標高m	基 礎 水	高 潮	地 震	津 波
1		茶花小学校	茶花	97-2031	※200	体育館・校舎	17.1	○	○	○	
2		茶花自治公民館	茶花	97-4747	80	RC造	10.2	○	○	○	
3		中央公民館	茶花	97-2079	243	RC造	15.0	○	○	○	
4		保健センター	茶花	97-5105	55	RC造	32.5	○	○	○	○
5		地域福祉センター	茶花	97-4802	242	RC造	49.9	○	○	○	○
6	茶花校区	多目的屋内運動場	茶花	97-5139	1,048	RC・木造	46.1	○	○	○	○
7		砂美地家館	茶花	97-5001	895	体育館	37.6	◎	◎	◎	◎
8		地域包括支援センター	茶花	81-3072	32	RC造	32.5	○	○	○	○
9		防災センター	茶花	97-3111	100	RC造	37.6	◎	◎	◎	◎
10		立長公民館	立長	97-3117	50	RC造	24.2	○	○	○	
11		立長コミュニティセンター	立長	無	30	RC造	28.1	○	○	○	
12		城自治公民館	城	97-4723	42	RC造	72.3	○	○	○	○
13	与論校区	与論小学校	朝戸	97-2241	※200	体育館・校舎	72.7	○	○	○	○
14		与論中学校	朝戸	97-2277	※350	体育館・校舎	83.0	○	○	○	○
15		朝戸自治公民館	朝戸	97-4735	56	RC造	86.5	○	○	○	○
16		西区自治公民館	西区	97-3141	50	RC造	57.6	○	○	○	○
17		東区自治公民館	東区	97-2733	40	RC造	53.4	○	○	○	○
18	那間校区	古里自治公民館	古里	97-2828	40	RC造	18.6	○	○	○	○
19		叶自治公民館	叶	97-5050	40	RC造	54.4	○	○	○	○
20		那間小学校	那間	97-2278	※200	体育館・校舎	33.7	○	○	○	○
21		那間自治公民館	那間	97-5058	50	RC造	40.3	○	○	○	○

緊急時の連絡先

警 察 110/97-2803
 消 防 119/97-0119
 海 難 118/52-5812
 役 場 97-3111
 災害用ダイヤル 171



◆家族で防災会議を開こう◆

- 家族の一人ひとりの役割分担を決める。(日常防災担当、災害発生時の役割。)
- 家の内外の危険箇所のチェックをする。(家具の安全配備、転倒、落下防止。)
- 非常持出品をチェックする。(保存状態、賞味期限、必要な物が揃っているか。)
- 連絡方法を確認する。(家族が離ればなれになったときの連絡方法。)
- 避難経路を確認する。(避難場所、経路を決めておく。)

我家の避難場所

(2)断層の確認

活断層は直下型地震を引き起こすとされている。

旧町立診療所は断層帯から少し離れている。

- 参考文献「200万分の1日本列島活断層図」

活断層及び推定活断層の分布図



活断層: 過去数十万年以上くり返し活動したことがある断層で、将来も活動する可能性がある断層としている。

推定活断層: 断層活動に伴う変位地形が最近数十万年以降に形成されたものの判定が、活断層に比べて難しいものや、変位地形そのものが、理由(成因)で形成された可能性があることを示す断層としている。

4 利便性

茶花市街地及び県道からも近く、中央公民館、保健センター・包括支援センター等公共施設も集積しており、分かりやすく利用しやすい場所にある。

5 駐車場の確保及び幹線道路へのアクセス

(1)駐車場用地については、隣接する民有地を取得予定であり、来庁者用、公用車・職員用として十分な敷地が確保できる。

(2)旧町立診療所から幹線道路(県道)へのアクセスは、現道路幅では緊急時の消防車の通行に支障をきたす恐れがあることから、民有地の取得交渉を進め道路を拡幅する予定である。また、緊急時に茶花小学校や茶花産業道路側からの避難がスムーズに行えるよう、県道から保健センターへの道路を新設整備する予定である。

6 公共用地の有効活用

与論町公共施設総合管理計画において、既存施設の有効活用、廃止となった施設の売却、除去、施設の統合・複合化を進め、将来負担の軽減を基本的な考え方としており、旧診療所及び医師住宅、包括支援センター等の旧建築基準法で建設された施設用地の有効活用及び本庁舎への統合を進める。

○建設シュミレーション

1 建設用地について

役場新庁舎建設シュミレーション参照

(1) 予定する庁舎規模の敷地を確保できるか？

旧町立診療所、医師住宅及び包括支援センターの敷地面積が5,571.85㎡あることから2階建て以上の庁舎であれば十分な敷地を確保できる。

(2) 駐車場の確保

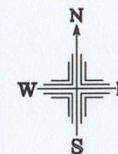
旧診療所の隣接地を取得する。

高低差があるが職員用駐車場として十分な面積を確保できる。

役場新庁舎建設シュミレーション



道路建設計画図



○第8回庁舎建設検討委員会

庁舎建設候補地の検討結果

※ 第8回の決定事項を記載する。

新庁舎建設場所の最終決定

平成28年 7月	第1回住民説明会
平成28年11月	第2回住民説明会
平成29年 2月	第3回住民説明会
平成29年 3月	与論町新庁舎建設 基本構想(案) パブリックコメントの実施
平成29年 3月	基本構想の策定

終わりに

役場新庁舎建設にあたっては、
町民の皆様にご理解・ご協力をい
ただき進めて参りたいと考えてお
ります。

今後の住民説明会につきまして
も、引き続きご協力いただきますよ
うお願いします。